


子ども的人権・子ども向け

| ジャンル          | 題名                                   | イメージ  | 概要   | 対象                       | 収録時間 | 制作年          | 字幕 | 副音声 | 解説書 | No. |
|---------------|--------------------------------------|---|--|--------------------------|------|--------------|----|-----|-----|-----|
| 子ども           | 桃色のクレヨン                              |    | かけがえのない命、思いやりの心を大事にしていくことに気づいていく主人公を通じて、子どもと大人と一緒に見て楽しめる、心温まるアニメーション作品です。  | 少年・青年                    | 28分  | 平成16年(2004年) | 有  | 有   | 無   | 64  |
| 様々な人権         | 未来を拓く5つの扉<br>～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～ |    | 全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたもみみをかたむけてみてください。それがきっと新しい明日への一歩につながっていくでしょう。  | 中学生～一般                   | 41分  | 平成26年(2014年) | 有  | 有   | 有   | 69  |
| その他(児童館)      | 見る児童館Ⅱ<br>～児童館の機能と運営～                |    | このDVDは児童館の日常を追うことをコンセプトとして製作され、複数の児童館での活動場面を横断しながら、児童館の基本的な機能や運営内容を理解しやすく編集しています。日常の取り組みの中から、児童福祉施設としての児童館の本質を感じてください。   | 一般                       | 40分  | 平成26年(2014年) | 無  | 無   | 有   | 70  |
| その他(携帯電話・スマホ) | ちょっと待って、ケータイ<br>～被害者にも加害者にもならないために～  |   | 子どもたちを取り巻く環境は、発達途上にある子どもの人格形成に様々な影響を及ぼします。とりわけ、各種メディア上の性的な内容や非常に暴力的な表現などは子どもたちへ悪影響を及ぼすことが憂慮されます。そして社会の高度化・複雑化に伴い、子ども達を取り巻く環境は大きく変わっています。特に、携帯電話は子どもたちに急速に普及しています。現在の携帯電話は、一部の高齢者向けを除けば子ども用も含めて通常の電話をはるかに超える機能を有しており、「携帯インターネット端末」と言うべきものであります。急な連絡の際の手段として有用な反面、長時間利用により学習時間や睡眠時間が減少して生活リズムが乱されたり、インターネット上に氾濫している有害な情報により、さまざまなトラブルや事件に子どもたちが巻き込まれたりしています。このDVDを通して、携帯電話を介してインターネット上に氾濫している有害情報がどのようなものか、それが子どもにとっていかに危険で有害であるかを保護者や学校関係者をはじめとする皆様にご理解いただきたいと思います。(本作品は、一つのストーリーを子どもの目線からと保護者の目線からの二つの視点で鑑賞できるよう2枚組みとなっています) | DISC1子ども向け<br>DISC2保護者向け | 60分  | 平成20年(2008年) | 無  | 無   | 有   | 72  |
| その他(携帯電話・スマホ) | ちょっと待って、ケータイ2<br>～ルールとマナーを守ろう～       |  | 子どもたちを取り巻く環境は、発達途上にある子どもの人格形成に様々な影響を及ぼします。とりわけ、各種メディア上の性的な内容や非常に暴力的な表現などは子どもたちへ悪影響を及ぼすことが憂慮されています。平成21年4月より「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備に関する法律」が施行され、同年6月には基本計画が策定されています。この基本計画では、「青少年のインターネットの適切な利用に関する教育及び啓発の推進」に関する事項が盛り込まれています。こうした法や基本計画に基づき、このDVDは、子どもの携帯電話をめぐる問題にどのようにして対応すべきか関係者の理解を深めることをもくげに制作されました。前回制作したDVDと併せてご活用ください。(本作品は、一つのストーリーを子どもの目線からと保護者の目線からの二つの視点で鑑賞できるよう2枚組みとなっています)   | DISC1子ども向け<br>DISC2保護者向け | 64分  | 平成21年(2009年) | 無  | 無   | 有   | 73  |

| ジャンル     | 題名                              | イメージ  | 概要  | 対象         | 収録時間 | 制作年          | 字幕 | 副音声 | 解説書 | No. |
|----------|---------------------------------|---|---|------------|------|--------------|----|-----|-----|-----|
| 子ども      | プレゼント                           |    | 小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹を立てた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める。美由紀がいじわるをするようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになった。ただひとり、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまった…   | 小学校<br>中学年 | 15分  | 平成15年(2003年) | 有  | 無   | 有   | 75  |
| 子ども(いじめ) | 見上げた青い空                         |    | いやがらせメール、プロフ、掲示板。匿名性が高いネット時代のいじめは、ウイルスのように次々と感染していき、陰湿な仕打ちもまるでゲーム感覚です。そして、誰が次のターゲットになるか分からない疑心暗鬼から、クラス全員がいじめる側に加わろうとする一方、ターゲットとされた子どもは24時間365日いじめにさらされてしまう残酷さもネット時代の「いじめ」の特徴です。「いじめ」によって子どもが自殺するのは、決してその子どもが弱いからではなく、現代のいじめがそれほど残酷だからです。また、「いじめ」はいじめられる側だけではなく、いじめる側も苦しめるという点でも残酷であり、いじめ問題を解決するためには、いじめる側にいじめを止めさせることをとにかく最優先しなければならないと指摘する専門家もいます。この作品は、巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる「いじめ」の本質を直視していただき、あらためて「いじめ」について考えるきっかけになることを企図して作成されました。ご覧になった方の一人一人に、人ごとではなく自らの問題としての「気付き」があることを願っております。 | 中学生<br>～一般 | 34分  | 平成19年(2007年) | 有  | 有   | 有   | 76  |
| ハンセン病    | 未来への虹<br>～ぼくのおじさんは、ハンセン病～       |    | 2003(平成15)年11月、熊本県内のホテルでハンセン病療養所入所者らが宿泊を拒否されました。また、この事件を契機として、一般の人からの心ない誹謗と中傷にさらされました。これらの出来事は、ハンセン病に対する理解不足と、ハンセン病患者・元患者に対する偏見や差別が根強く残っていることを明らかにするものでした。このような偏見や差別をなくすためには、ハンセン病に対する正しい知識を深めるとともに、ハンセン病患者・元患者が国の隔離政策によりどんなに身体的、精神的苦痛を与えられてきたかを広く社会の人たちに認識してもらう必要があります。この作品は、ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本「ぼくのおじさんは、ハンセン病ー平沢保治物語ー」をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらうことを目的として作られたものです。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたいと帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。   | 少年・一般      | 30分  | 平成17年(2005年) | 有  | 有   | 有   | 77  |
| 様々な人権    | すべての人々の幸せを願って<br>～国際的視点から考える人権～ |   | 人権の保護や促進に多大な貢献を果たしてきた国際連合創設70周年を記念して作成。このビデオでは、世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。世界には、性別や人種、肌の色の異なる人々、大人や子ども、障害の有無など、一人ひとり違いを持ったたくさんの人たちが暮らしています。すべての人々が幸せに暮らせるように、私たち一人ひとりが相手の違いを認めつつ、同じ人間として、相互に尊重しあうことの大切さを一緒に考えていきましょう。   | 中学生<br>～一般 | 35分  | 平成27年(2015年) | 有  | 有   | 有   | 78  |
| 外国人      | 外国人と人権<br>～違いを認め、共に生きる～         |  | 日本には、平成27年12月現在で200万人以上の外国人が住んでおり、日本を訪れる外国人も年間1900万人を超えるなど年々増加しています。異文化との出会いは日常的なものとなっており、誰もが地域や学校、職場で外国人と接する機会があるといえます。異なる文化が共存することは、社会に様々な価値観をもたらし、より豊かな未来を築くことにつながります。しかし、その一方で、言語や宗教、文化の違いが外国人と日本人の間に摩擦をもたらし、外国人の人権が侵害されるケースもあります。ヘイトスピーチと呼ばれる、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動も生じています。このDVDは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にすると人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか、本DVDを学んでいきましょう。  | 中学生<br>～一般 | 33分  | 平成28年(2016年) | 有  | 有   | 有   | 79  |

| ジャンル       | 題名   | イメージ  | 概要   | 対象             | 収録時間 | 制作年          | 字幕 | 副音声 | 解説書 | No. |
|------------|--|---|--|----------------|------|--------------|----|-----|-----|-----|
| インターネット    | インターネットと人権<br>～加害者にも被害者にも<br>ならないために～          |    | 我が国のインターネット利用人口は年々増加し、「平成27年通信利用動向調査」(総務省)によると平成27年末のインターネット利用者は1億46万人(人口普及率83.0%)となっており、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものとなっています。しかし一方で、インターネットの匿名性を悪用した他人への誹謗中傷、根拠のない無責任な噂、個人情報の無断掲載、差別的書き込みなど、人権やプライバシーの侵害につながる行為は絶えず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題になっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者になることも少なくありません。本作品は、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめています。 | 中学生<br>～一般     | 30分  | 平成28年(2016年) | 有  | 有   | 有   | 80  |
| 様々な人権      | わたしたちが伝えたい、大切なこと<br>～アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～ |    | このDVDでは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう?と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。   | 中学生<br>～一般     | 31分  | 平成28年(2016年) | 有  | 有   | 有   | 81  |
| 子ども(心理的虐待) | 君が、いるから  |    | この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通じて、新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に、「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描きます。   | 一般・若者          | 33分  | 平成30年(2018年) | 有  | 有   | 無   | 84  |
| LGBTQ      | はじめて学ぶLGBTs<br>①男らしい色?女らしい色?                   |   | 小学校低～中学年の児童には「性的指向と性自認」の知識を教えるというよりは、世の中が作り出す男らしさや女らしさといった規範が刷り込まれる前に、「人はみなそれぞれ違うこと、その違いが面白いこと」「こうあらねばならない、ということは決してない」といったメッセージを伝えることが大切です。アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見にとらわれるこの無意味さに気づき、自分らしくある事の素晴らしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てる機会とします。物語の後に教員向け映像を収録し、本編の視聴後にどのような問題提起をするかといった授業展開のための具体的な指導案も示します。  | 小学校低学年<br>～中学年 | 12分  | 令和2年(2020年)  | 有  | 無   | 無   | 90  |
| 子ども(いじめ)   | 考えよう!いじめ                                       |  | このDVDは「小学生編」と「中学生編」、2つのストーリーがあります。現在では、小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使ったいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすためにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。   | 小学生・中学生        | 28分  | 令和6年(2024年)  | 有  | 有   | 有   | 93  |

| ジャンル      | 題名         | イメージ  | 概要  | 対象     | 収録時間 | 制作年         | 字幕 | 副音声 | 解説書 | No. |
|-----------|------------|---|---|--------|------|-------------|----|-----|-----|-----|
| 子ども(児童虐待) | 考えよう! 児童虐待 |  | <p>子どもパート:オウムのカイくんが各エピソードを解説します 大人パート:法務局職員が各エピソードを解説します</p> <p>事例1(心理的虐待1)きょうだい間で著しく差をつけ、一方に拒否的な態度をとる「心理的虐待」の事例を解説します。</p> <p>事例2(心理的虐待2)常に子どもを他の子と比較して、劣っていると責め続け、否定する「心理的虐待」の事例を解説します。</p> <p>事例3(心理的虐待3)父親または母親がパートナーに暴言をくりかえし、子どもに目撃させる「心理的虐待」の事例を解説します。</p> <p>事例4(心理的虐待4)子どもを必要以上に怒鳴りつけ「殴る」などの言葉により脅す「心理的虐待」の事例を解説します。</p> <p>事例5(身体的虐待1)親の意に反するようなことをした子どもに暴力をふるう「身体的虐待」の事例を解説します。</p> <p>事例6(ネグレクト1)小さい子どもと乳幼児だけを家に残して真也に外出する「ネグレクト」の事例を解説します。</p> <p>事例7(ネグレクト2)高熱などの想い病気で苦しんでいる子どもを病院に連れて行かず放置する「ネグレクト」の事例を解説します。</p> <p>事例8(性的虐待1)子どもに性的な映像や画像を見せる「性的虐待」の事例を解説します。</p> <p>事例9(ネグレクト→宗教活動に関する虐待)両親の信仰のために子どもに友達との付き合いを制限するなどの「ネグレクト」の事例を解説します。</p> <p>エピソード オウムのカイくん(子どもパート)、法務局職員(大人パート)が相談窓口を案内します。</p> <p>大人パートのみ(ポイント1)児童虐待の判断について(ポイント2)民法一部改正についての説明</p> | 子ども～一般 | 33分  | 令和6年(2024年) | 有  | 有   | 有   | 94  |

| ジャンル | 題名 | イメージ | 概要 | 対象 | 収録時間 | 制作年 | 字幕 | 副音<br>声 | 解説書 | No. |
|------|----|------|----|----|------|-----|----|---------|-----|-----|
|------|----|------|----|----|------|-----|----|---------|-----|-----|